



ネグロス タイムズ NEGUROSU TIMES

Second Issue **2021**



SDGs

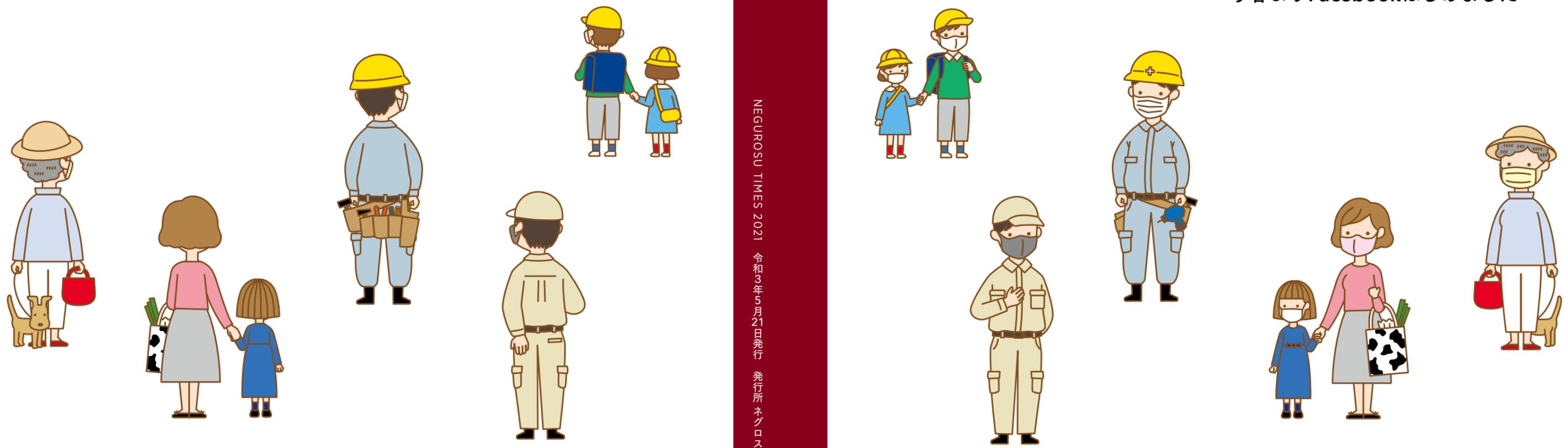
NEGUROSU & SDGs
What's the SDGs?

Special Feature

「ミキファーム」 ついに始動

Topic

今春よりFacebookはじめました



事業を通じた社会貢献、働き方改革、働く学生の支援などを紹介するPRマガジン

NEGUROSU TIMES 2021 令和3年5月21日発行 発行所ネグロス電気株式会社



ネグロス電気株式会社
〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1
TEL: 03-5628-7111 <https://www.negurosu.co.jp/>



経営理念

わがネグロス・グループは
創業の精神に則り
常に業界においてトップを目指し
堅実経営に心がけ
顧客の要望に適う電設工事を
また個性豊かな高品質の商品を創造し
顧客の喜び満足から
企業の発展充実を計り
一部を社会へ奉仕還元して

顧客の利益

社員の利益

企業の利益を実現して

企業存続を計ることを基本経営理念とす
(昭和53年4月1日改訂)



社名の由来

昭和19年第二次大戦時、創業者 菅谷政夫はフィリピンのネグロス島にいました。飢餓と伝染病と敵襲との戦いで、生還者は一割という悲惨なものでした。そんな体験から、あの苦しみを思えば今後の人生でどのような困難に出会ってもきっと乗り切ることができるにちがいない。また、亡き戦友の分まで働き、社会に奉仕しよう！と昭和22年ネグロス島の名をとって「ネグロス協電社」としたのが始まりです。



「ネグロタイムズ」第2号を
お届けいたします

2020年7月に発行した創刊号では「ネグロスの印象が大きく変わった」とご好評をいただき、編集に携わった社員一同、喜びと同時に本誌制作に当たり大きな責任を感じているところです。

昨年からの新型コロナウイルスのパンデミックによって、まさに世界中が大混乱となりました。その一方で私たちの働き方や生活様式に大きな変化が生じ、新しい常識「ニューノーマル」へと時代は変わろうとしています。

このような変革の中、当社は「2021-2023 中期経営計画」を発表いたしました。「SDGs 経営の推進」を方針の軸として掲げ、世界の目標に向かって皆様と歩んでいく所存です。目まぐるしく変化するこの世の中で、当社が何を考え、何に取り組むのか、その活動を本誌を通じて皆様にご覧いただきたいと考えております。

CONTENTS

経営理念・社名の由来	2
トップメッセージ	4
What's the SDGs?	6
特集「ミキファーム」ついに始動	8
数字で見るネグロス電工	10
展示会のあゆみ	12
活動報告	14
事業	14
環境	17
社会	19
社員	20
コーポレートデータ	22
拠点一覧 / TOPIC	23

“Buglasan Festival”ネグロス島南部ドゥマゲテ市のお祭りです。

「SDGs経営の推進」を 「中期経営計画」の方針として掲げ 取り組んでまいります

アフターコロナを見据えた 経営戦略の立案と取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大から1年以上の時間が経過しました。日本経済は歴史に残る景気低迷に見舞われ、昨年春の緊急事態宣言発令に伴い4~6月期の国内総生産（GDP）は戦後最悪の落ち込みを記録しました。世界各国の感染者数の水準は変わらず高い状況にあり、また新たな変異株の発生やワクチン供給量など感染拡大と予防策を巡る不確実性は依然として大きな問題となっております。

そんな中、人の移動と密接に関わる飲食や観光といった業種は、対面での接触を減らして感染拡大を防ぐ新しい様式を取り入れて対策を模索し、その他業種についても輸出が堅調な一部製造業やネット通販、第5世代移動通信システム（5G）の需要が拡大傾向にあるなど、経済活動は徐々にではありますが回復の兆しを見せており、景気の先行きを見通す重要性を改めて感じております。

当社は、2021年度から3か年にわたる新中期経営計画を策定しました。この中期経営計画では、現状とさらに変化していくであろう今後の国内経済環境の動向、およびアフターコロナの世界を見据えたうえで、優先度やスピード感など多角的要素を盛り込んだ経営ビジョンを描きました。そしてそのめざすべき姿の実現に向け「SDGs経営の推進」を方針として掲げました。

2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす、地

球規模で取り組むべき大きな国際目標です。事業を行って収益をあげることが同時に社会や地球環境の改善にも繋がるビジネスモデルを、途上国や先進国といった国レベルにとどまらず世界中の民間企業にも求めております。つまり、世界中の民間企業が行動を起こさなければSDGs達成は不可能だということです。

国際社会の一員であるネグロス電工、ネグロスグループもこの目標に向かって積極的に取り組み、解決すべき課題からビジネスチャンスを模索して新規事業を創造していくとともに、収益と環境改善の双方を両立させ、且つ当社と利害を共にするすべての関係者の方々との連携を強化していくことで事業の幅をさらに広げてまいります。こうしたSDGsの考えに則した取り組みが企業価値をより高め、結果として持続的な成長と発展に結びつくものと考えております。

新型コロナウイルスの収束が見通せず、出口の見えない不安感は今も続いております。この状況下において新たな中期経営計画をスタートさせるわけですが、嵐が過ぎるまでじっと耐えるような守り一辺倒の事業展開は全く考えておりません。市場開発・顧客ニーズを満たす商品開発やサービス拡大への注力など、ピンチをチャンスに変える長期的な攻めの戦略を遂行し、この「コロナ危機」を後の成長に結びつけるための準備期間と位置付けて積極的に取り組んでまいります。

今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



従業員意識調査

従業員満足度の充実にめざして

当社では2019年度より従業員意識調査を年に一度実施しております。この調査は全従業員を対象とし、働きやすさ、従業員満足度等、会社の健康状態を数値で表したもので、「顧客志向性」「職場環境」「多様性」「コンプライアンス」など、12の項目から構成されております。

従業員がどのような意識で仕事を行っているのか、また自社をどのような目で見ているのかを把握することで、中長期的な事業戦略に反映させたり、コンプライアンス違反などの問題の芽を早い段階で特定して改善していくことができますので、大変重要な調査であると考えております。

従業員満足度の向上は企業にとって大きな課題の一つです。従業員満足度は、仕事に対する意欲や貢献と密接に関わっており、製品やサービスの質、生産性等にも大きな影響を与えます。お客様に満足いただける最高のサービスを提供するためには、従業員満足度の充実が不可欠であるといえるのです。より良いサービスを提供していくためにもさらなる従業員満足度の向上をめざしてまいります。

また従業員が不安を感じることなく仕事に全力で取り組める環境を整備することは定着率の向上にも繋がり、安定した事業の遂行が可能となります。この「従業員意識調査」を従業員との対話の機会の一つと位置付けて今後も継続的に実施してまいります。

ネグロス電工株式会社
代表取締役社長

菅谷 三樹生

What's the



最近至るところで耳にするSDGsという言葉。これって何のことかわかりますか？
SDGsの意味を紐解いて学んでいきましょう。

SDGsとは

SDGs(持続可能な開発目標)とは、「Sustainable Development Goals」の略称であり、2000年9月から2015年9月までに達成すべき8つの目標を掲げたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。2030年までに発展途上国および先進国、世界全体が一丸となって貧困や飢餓、健康や教育などの分野で、地球上のあらゆる問題に対して誰一人として取り残さない(Leave no one behind)未来を達成させ現在の世界をより良いものにしていくことがSDGsの目標であり、国連に加盟している全193ヵ国によって採択されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsが掲げる17の目標

SDGsは17のゴールと、169のターゲットによって構成されています。17のゴールは気候変動や経済的不公平、イノベーション、持続可能な消費、平和と正義などの新たな分野を優先課題として盛り込んでおり、169のターゲットは17の問題それぞれを解決するために、具体的に何をすべきかが記されています。これら17のゴールは持続可能な開発目標として定められ、ターゲットを明確化することで私たちが取り組むべき課題や解決策を考えるための道しるべとなります。



企業とSDGs

SDGsの目標を達成するために必要な投資は年間5~7兆ドルとされており、これを達成するには行政だけでなく、民間(企業)の協力が不可欠です。また、SDGs達成によってもたらされる経済効果は年間12兆ドル、創出される雇用は最大3億8千万人とも言われており、新たな市場を創造する可能性を秘めています。

SDGsは企業が取り組むべき課題であるとともに、新たなビジネスを創出するチャンスでもあるのです。また世界共通の目標に向かって真摯に取り組むことは、投資家や顧客、地域、社会といったステークホルダーからの信頼を得

ることに繋がり、企業の価値を向上させることとなります。そしてSDGsは企業が進むべき羅針盤となり、リスク回避や持続可能なものとして成長していく生存戦略に繋がっていくのです。

ネグロス電工は、「2021-2023年度中期経営計画」において『SDGs経営の推進』を計画の方針として掲げました。SDGsに取り組むことで、社会のニーズを的確に捉え、新たなビジネスチャンスを獲得して持続可能性を追求します。社会の課題解決に貢献することで、社会や地域、お客様から愛される企業をめざしてまいります。

ネグロス電工とSDGs

安心・安全を提供できる製品づくりをめざして



私たちが住む街はさまざまなインフラによって成り立っています。特に駅や病院、学校など多くの人が利用する施設では強度や耐震性に優れた設備が求められ、当社はその要求に応えることのできる安心・安全で高品質な製品を開発しお客様にご提供しています。当社の製品は一般の方々の目に触れる機会が少ないものばかりですが、電気・空調・衛生といった暮らしに深く関わるインフラ整備には欠かせないものばかりです。これからも当社は長年培ってきた確かな技術と開発力で、持続可能な街づくりの実現に貢献していきます。



ネグロス島プロジェクト



奨学金支給に向けて実施した家庭訪問
写真提供：Darwin English Tutorial International Inc.(DETi・デティ)

当社は、2020年からフィリピンのネグロス島に向けて支援活動を開始しました。この支援活動では「奨学金プログラム」、「寄宿舎事業」、「しごとづくり事業」を中心としてさまざまな活動を展開しています。

Be With Negros Islandをスローガンに、経済困難かつ生活環境に恵まれない子どもたちへの教育支援・人材育成を進めるとともに、「しごとづくり事業」によって子どもたちのベースである家庭へのサポートを行い、自らの力で生計を立てることができるといった生活環境の構築をめざしています。



働き方の多様性



従業員のライフステージやニーズに応じて多様で柔軟な働き方を叶える施策や制度づくりを推進しています。



再生可能エネルギーの推進



太陽光パネルの設置に必要な架台や部品の製造販売や自社施設への導入によって再生可能エネルギーの普及促進に努めています。



KYODENSHA VIETNAM



ベトナムを拠点に海外事業を展開し、ASEAN諸国の経済発展に貢献していきます。



コンセプトブックの配布

当社はSDGsの理解向上を図るツールとしてオリジナル冊子『SDGsコンセプトブック』を制作し、全従業員に配布しました。この冊子はSDGsの基本的な知識はもちろんのこと、SDGsを実装するための思考法やSDGsに取り組むためのヒントを凝縮した一冊になっています。ネグロス電工では従業員一人ひとりが日々の仕事や日常生活の中でSDGsを身近に捉えて物事を考え、そして気軽に取り組むことができる、そんな会社をめざしています。当社はこれからもさまざまな取り組みでSDGsの社内醸成を図っていきます。



「ミキファーム」ついに始動

ネグロス電工では、ダイバーシティ推進の一環として、障がいを持つ方に活躍の場を提供することを目的に2020年3月にネグロス農園「ミキファーム」を開園しました。ネグロス電工の社員として現在、障がいを持つ8名の作業者と3名の農場長の計11名のスタッフが働いています。今回は、農園の立ち上げから初収穫までの道のりを紹介します。

可愛らしくて
美味しくうで
しよ?



2020年3月16日の入社式を終え、翌日から農園での作業がスタートしましたが、初めてで慣れない作業ということもあり、失敗の連続でした。水耕栽培を行うための整地作業から始まり、野菜を植えるための土台レーンづくりはとても集中力がいる地道な作業でした。

春から夏にかけては新型コロナウイルスの影響により出社制限となり、コミュニケーションも思うように取れず、歯がゆい思いをした時期もありましたが、スタッフそれぞれが前向きになってできることを丁寧にこなしていき、スタート当初は少しぎこちなかった間柄も徐々に打ち解けていきました。休憩時には楽しそうに談笑する姿も多くみかけるようになり、チームワークも生まれてきました。

10月の土台レーン完成から初の植えの頃には、全員が作業できるようになり、より一層の団結力が生まれる中、スタッフ一人ひとりの作業に対する集中力、仕事への意欲の高さには驚かばかりでした。

スタッフミーティングで、皆が育てたい野菜を出し合い話し合った結果、記念すべき最初の作物は「ハツカダイコン」「小松菜」「水菜」「チンゲンサイ」に決まりました。皆それ

ぞれ思いがあり、熱い議論になったのですが、今回はすべてが初めての経験ということもあり、比較的収穫までの日数が早いとされる4つの野菜が選ばれました。夏になったらスイカやメロンを育ててみたい!との意見も出ていました。

「ミキファーム」は、『三』つの『樹』を『生』やすと書く菅谷三樹生(みきお)社長の名前から、ネグロスが運営する3つの区画を樹の幹にたとえ、3本の幹を大きく育てたいという思いを込めて名付けられました。また、「三つの樹」のイラストを描いたオリジナル看板は、スタッフそれぞれが独創的なアイデアで切り絵をして完成したものです。

暮れも押し迫る12月なかば、いよいよ初収穫を迎えました。この日は菅谷社長も来園し、実際に収穫作業を体験してもらいました。楽しそうに作業している農園スタッフの姿を見て、泥だらけで微笑んでいる社長の姿がとても印象的でした。

これからもっともっと色々な野菜を育てて、多くの人に喜んでいただけるように活動していきます。今後の「ミキファーム」にご期待ください。

Step 1



初めは何もない状態からのスタートでした。

Step 2



整地作業が終わり、いよいよ植えスタートです。

Step 3



徐々に野菜が育ちはじめました。

白熱した
議論が繰り広げ
られています。



ハツカダイコンの収穫までもう間近



看板はなんと6パターンも製作しました!

初めはぎこちなかった
スタッフも今ではとて
も仲良しです。



収穫

スタッフオリジナル
の看板がいよいよ設
置されます。



初の収穫は2人1組で行いました。



初収穫にスタッフもにっこり。

仕分け



スタッフが丁寧に仕分け梱包します。

梱包



菅谷社長に仕分け梱包も行ってもらいました。

ハツカダイコンを使用したサラダです。



農場長の3名と菅谷社長。



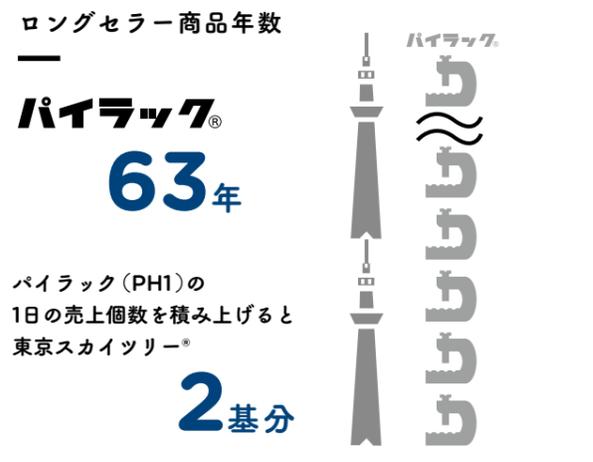
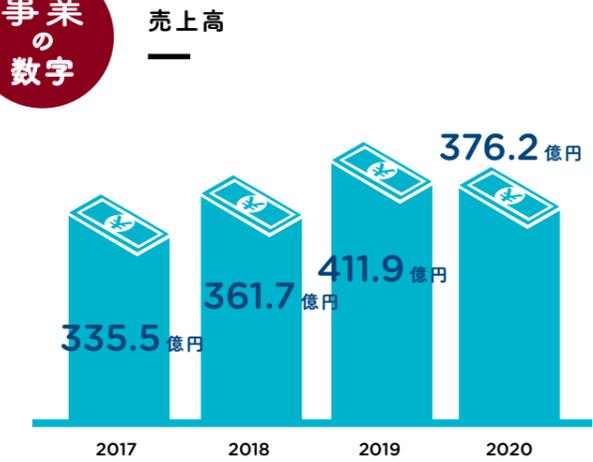
ミキファーム外観

数字で見るネグロス電工

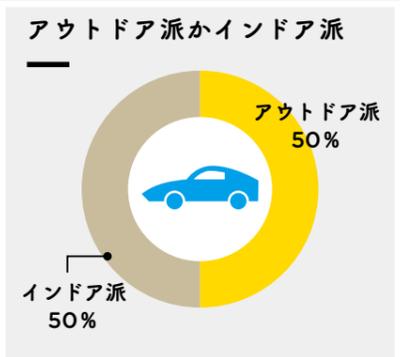
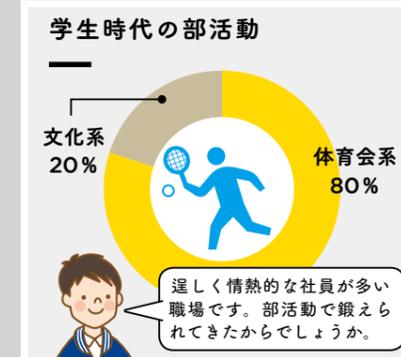
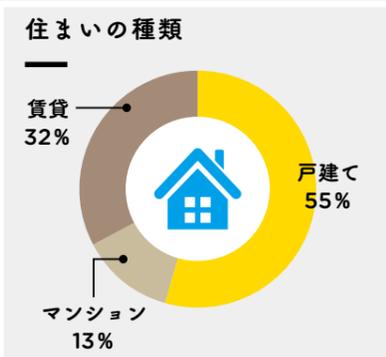
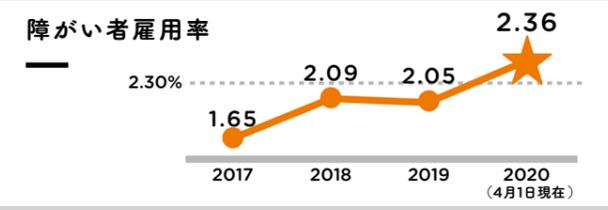
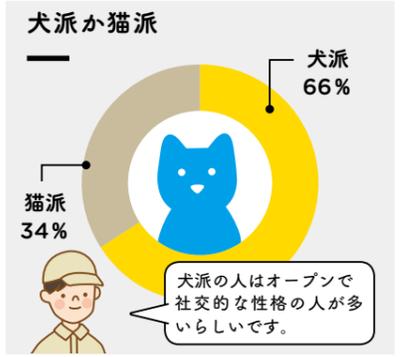
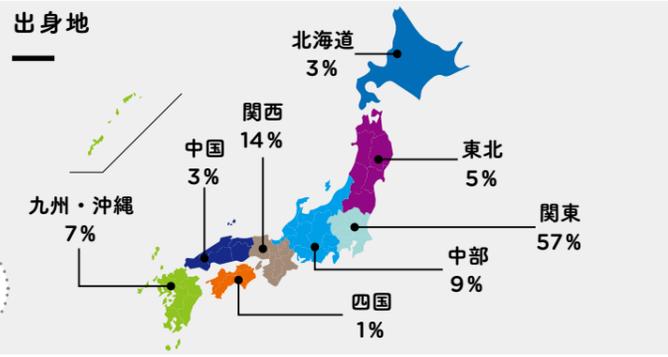
社会やステークホルダー、環境とともに歩むネグロス電工の「いま」を数字で紹介します。



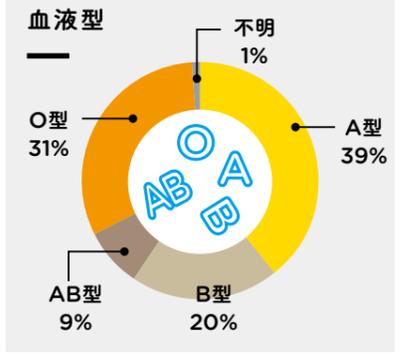
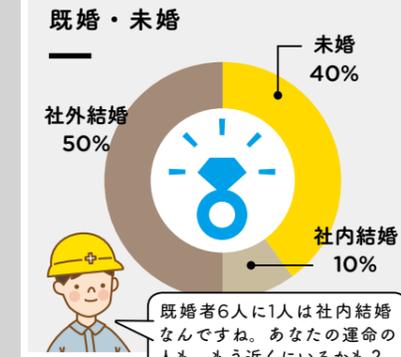
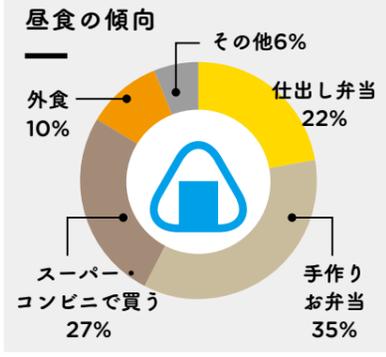
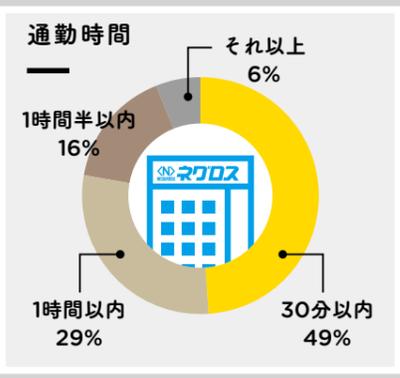
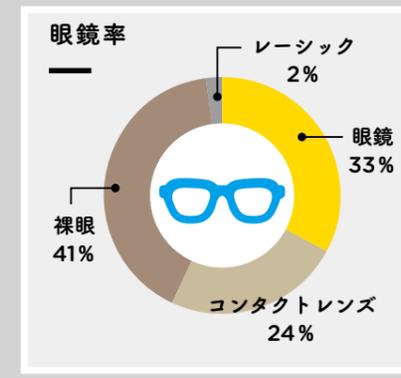
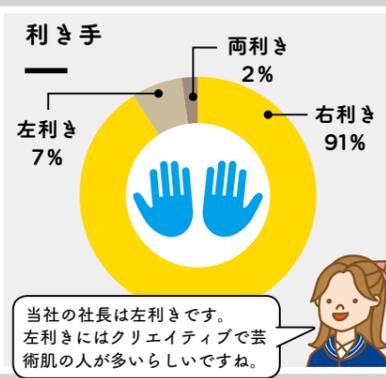
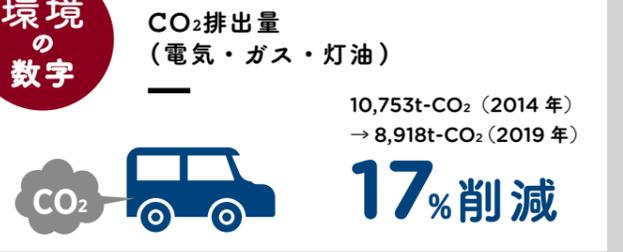
事業の数字



社員の数字



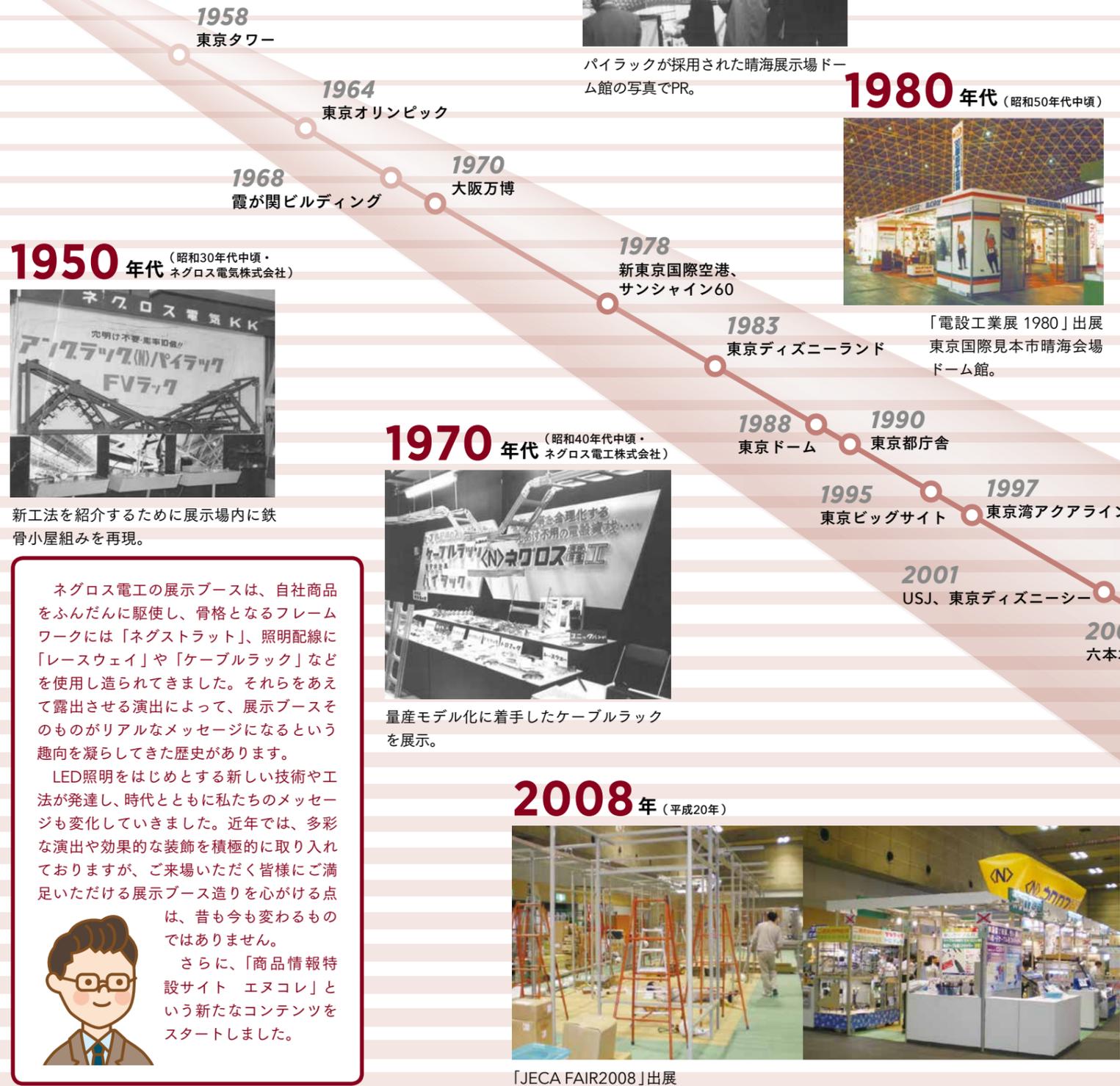
環境の数字



HISTORY of NEGUROSU EXHIBITION

展示会のあゆみ

展示会をお客様との貴重な交流の場と捉えて時代に合わせ、ときに時代を先取りし、さまざまな提案をしてみました。展示会は「ネグロス電工の歴史」そのもの。お客様の声に耳を傾けることを大切にしてきた証しでもあります。
 ○時代を代表する建造物・施設・催しです。



ネグロス電工の展示ブースは、自社商品をふんだんに駆使し、骨格となるフレームワークには「ネグストラット」、照明配線に「レースウェイ」や「ケーブルラック」などを使用し造られてきました。それらをあえて露出させる演出によって、展示ブースそのものがリアルなメッセージになるという趣向を凝らしてきた歴史があります。

LED照明をはじめとする新しい技術や工法が発達し、時代とともに私たちのメッセージも変化していきました。近年では、多彩な演出や効果的な装飾を積極的に取り入れておりますが、ご来場いただく皆様にご満足いただける展示ブース造りを心がける点は、昔も今も変わるものではありません。

さらに、「商品情報特設サイト エヌコレ」という新たなコンテンツをスタートしました。

Exhibition Planning Section

展示企画課では主に東京ビッグサイト、インテックス大阪などで開催される大規模な展示会に出展するための企画、製作、運営を行っています。2020年度は新型コロナウイルスの影響を受け、ほとんどの展示会が中止となりお客様へネグロス電工の新商品をPRできない状況となってしまいました。その中でどうすれば新商品の情報をお客様へ届けることができるのかを創意工夫した結果、新商品特設サイト「エヌコレ」を開催する運びとなりました。新型コロナウイルスの影響から始まったエヌコレですが、WEBでの開催のため、スペースや時間に縛られずいつでもどこからでも参加・閲覧が可能です。そのため、これまでなかなか展示会に足を運べなかった遠方のお客様やテレワーク、外出制限のあるお客様に対して有意義な

新商品の情報を発信していければと思っています。当社がおすすめの新商品をピックアップし、毎月情報を更新していきますのでお気軽にご覧ください。

アフターコロナでは、これまでの生活様式がさまざまに変わってくると思いますが、展示会もリアルとオンラインを併用したハイブリッドな展示会が増えてくると感じています。双方のメリットを活かし、多くのお客様に情報を発信できるようにしていきたいと思っています。

技術支援部 展示企画課 柴田 純兵

模型製作：限られたスペースで最大限の演出を形に。

展示設計：魅せる展示と伝えるための綿密な動線設計。



お客様への商品供給を決して止めない！ ～高効率物流の柱、佐野商品センターの取り組み～

ヒューマンパワーとITの マッチング

佐野商品センターでは、先進のITを活用して、無駄のない効率的な物流の実現に取り組んでいます。その一つがトラックに商品を無駄なく積み込めるよう、商品と荷台上的位置とを優先順位ごとにビジュアル表示する「積み付けシステム」です。熟練した作業員が経験で行ってきた作業をソフトウェアに取り込み、見える化しました。通常、2年ほどの指導期間と新旧2名のスタッフが当たっていた積み込み作業を、新人が半年の経験で1人で行えるようになりました。次に「自動倉庫システム」では、作業指示書に従って、多品種の商品置き場から目当ての商品を取りに行く煩雑な作業を自動化しました。必要情報を入力すれば、機械が自動的に商品をピックアップして作業スタッフに届ける仕組みです。最後に、「無人搬送機」ですが、人手で1日

2時間程度を要していたセンター内の商品移動を自動化しました。

一連の自動化システムの活用により、作業の工数削減と省人・省力化などが大きく進展し、一方でヒューマンパワーをより適切な局面で発揮できるようになりました。



クレーン操作を行い、積み付けシステムの指示どおりに作業します。

熟練作業を標準化することにより、少しの経験で誰でも作業できるようになりました。また自動化による省人化は、コロナ禍で密を避ける作業環境づくりにも役立っています。



設定した場所に商品を届けてくれる「無人搬送機」



ITにより瞬時に効率的な積み付けの順番が分かる「積み付けシステム」。



製造本部 情報物流部
佐野商品センター
小川 哲也

佐野商品センターは、ITによる自動化システムを活用した高効率な物流業務を展開し、お客様のニーズに的確に応えた商品供給を円滑に行っています。

余裕を持ったBCP対応と 物流効率の向上

佐野商品センターでは、設計当初からBCP（事業継続計画）を意識し、他の商品センターが機能しない場合でも商品供給責任を果たせるキャパシティと設備を確保しました。天候に左右されない完全室内の広い建屋のなか、トラックの入る1階には24基の大型クレーンと3車線の巨大通路を設置、商品の積み込みから出発まで一筆書きで移動できる仕組みを確立しました。無駄のないこの仕組みは、物流効率の大幅な向上にもつながっています。



トラック積み込み時の効率の良さと、すべての作業を室内でできる安全な作業環境は、ドライバーの皆さんからも好評です。



製造本部 情報物流部
佐野商品センター
栗田 祐志

(上)全天候型、一方通行3車線により効率的な作業ができます。
(下)24基の大型クレーンによりスムーズな作業ができます。

倉庫現場での女性の活躍

女性活躍推進に取り組む当社は、かつては男性の職場というイメージが強かった物流倉庫の現場でも女性スタッフを採用しています。現在、2名の女性スタッフが自動倉庫管理やフォークリフト作業などに携わっています。併せて女性スタッフと協議しながら軽量の商品を集約した背の低い棚を設けるなど、倉庫レイアウトの見直し・変更を行い、女性の働きやすい職場環境づくりに努めています。



自動倉庫管理などの細かい作業が好きで、楽しく働いています。フォークリフト免許も先輩の指導でスムーズに取得できました。



製造本部 情報物流部
佐野商品センター
船引 夢音

(上)女性が働きやすいレイアウトに変更された場内で得意な細かい作業を行います。(下)フォークリフトの免許も取得し器用に操作します。

佐野商品センターの役割

2017年3月に開設された佐野商品センターは、当社で最も新しい物流拠点です。全天候型屋内・2階建ての総面積21,010.44㎡という、物流倉庫として非常に恵まれた設備を活かし、日々、5,000点以上の商品を各工場から受け入れ、各地の営業所へ送り出す役割を担っています。関東北部地域の平野部で、道路状況の良い立地条件のもと、北海道や東北を含む東日本の幅広いエリアをカバーしています。

佐野商品センターで大切にしているのは、何より

もお客様への供給責任を果たし、ご満足いただくこと。最先端のITによる自動化システム・技術をうまく取り入れながら、最適な配送をめざして、所員全員が日々、努力と工夫を重ねています。

また、当社の物流機能をリードする役割も担っています。当センターで確立した自動化システムをはじめとする多様な物流ノウハウは、他の商品センター、営業所にも展開・共有され、BCPを確実に履行できる商品供給体制の強化が図られています。

自動化技術導入には、働く人を大切にしたいという思いがベースにあります。効率化を図りつつ、スタッフの誰もが生き生きと働ける環境づくりを進めていく考えです。

製造本部 情報物流部
佐野商品センター センター長
宮内 直樹





社会を支える大きな力に ～小物製品の安定生産を進める筑波工場～

すべてはお客様のために…

パイラック梱包ライン自動化

当社の代名詞ともいえるパイラックの生産に携わる筑波工場では、製品の安定供給を盤石にするために、梱包ラインの自動化を進めてきました。パイラックは、高所作業の多いお客様がそのまま使えるようにとの発想から、あらかじめビスをつけて梱包するなど、お客様の利便性を追求しています。自動化ライン構築でもこの考え方をベースに、現場で工夫を重ねてきました。

長距離輸送後の不具合調査のため、輸送テストや、箱の開発で協議を重ねました。チームで取り組み、チームで結果を出せたことが有意義でした。



製造本部 第一製造部
筑波工場

坂巻 忠司

(上)1958年に考案されてから現在に続く主力製品「パイラック」
(下)自動化により安定した供給が可能になりました。



特に、箱は扱いやすさを考慮して特注製造し、箱詰め工程ではテープ止めから手で開けやすいホットメルト接着に切り替えています。

検品もデジタル秤やセンサーを活用し、人的なミスを避ける工夫を施しました。2020年末には人手のいる3ラインが自動化ライン1本に集約され、安定供給を実現しています。

女性の活躍する場を広げる

～誰もがやりがいを持って働ける職場へ～

工場職員150名のうち、過半数を女性が占める筑波工場では、当社の掲げる女性活躍の基本方針に沿って、女性の職域を広げる取り組みを推進しています。たとえば事務職から管理業務などに職域を広げた女性スタッフのほか、出荷チームでフォークリフトを操る女性スタッフもおり、これまで男性が担っていた職域で、多くの女性が働くようになりました。筑波工場ではまた、地域の保育施設との連携を図り、女性に働きやすい職場づくりも進めています。



製造本部 第一製造部
筑波工場

町田 捺美

現場作業スタッフに指示を出します。

現場管理のほか、安全委員としての職場の安全管理も行っています。「信用」を第一に、スタッフとコミュニケーションを図りつつ、業務に取り組んでいます。



地球に生きる企業の使命として ～環境問題への飽くなきチャレンジ～

当社の塗料革新

～クロム酸フリーと省エネルギーを並立

筑波工場は金属製品の防錆用の表面塗料に、クロム酸を含む「ダクロ」を使用してきました。クロム酸は一定条件で人体に触れた場合、健康に悪影響を及ぼすリスクがあります。そこで筑波工場では、環境負荷低減の観点から、ダクロからクロム酸フリーの「ジオメット」塗料への切り替えを推進しています。ジオメットは塗料定着温度を低くでき、省エネに繋がるメリットもあります。ダクロ塗装時より温度を下げての処理が可能となりました。



製造本部 第一製造部
筑波工場
神坂 祐也



「ダクロ(左)」からクロム酸フリーの「ジオメット(右)」へ順次切り替えを進めています。

低温ジオメットは金属塗装業界初の試みで、塩水噴霧など綿密な検査を行い、品質保証をしっかりと行っています。業界標準をめざし、塗料メーカーと協力して取り組んでいます。

「工夫」と「気づき」で 環境負荷低減を追求

工場装置の動力に使う圧縮空気を製造するコンプレッサーからは、環境に負荷を与える油分を含むドレン水が出ます。水質汚濁防止法に則った排水処理が不可欠ですが、筑波工場では環境への責任を果たすために業者任せにせず、自前で行っています。「二槽構造」「フィルター層と軽石層による多層化」など、試行錯誤から効果的な仕組みを見出し、基準をクリアする浄化装置を完成、運用しています。また工場夜間に無人操業を行うとき、従来は24時間稼働であった付帯設備に自動電源オフ機能を持たせて省エネを図りました。このほか「環境影響情報シート」に従業員に配布し、現場の気づきから、環境負荷低減に資する活動を掘り起こし、取り組んでいます。



排水処理付コンプレッサー



排水処理システム

向上を導く取り組みを推進しています。現在パイラックシリーズ梱包作業の自動化を完了し筑波工場全体への展開、他工場へのノウハウ提供にも着手しています。効率化の一方で、改善活動や交渉マターなどには、今まで以上に人的資源の投入を図り、製品・サービスの質の向上に努めています。

また地球環境に優しい事業活動にも力を注いでおり、塗料のクロム酸フリー化、コンプレッサーのドレン水処理施設の開発、施設の省エネ運用など、多角的な取り組みを行っています。

筑波工場は、「お客様視点での取り組み」を重視しています。お客様への供給責任を果たしつつ、同時進行でお客様に付加価値をもたらす工夫を進めています。

製造本部 第一製造部
筑波工場
安藤 幸男



筑波工場の役割

筑波工場は、当社の豊富な製品ラインアップのうち、手のひらサイズの小物製品の製造を主に担当しています。プレスラインを担うA棟、塗装ラインと袋詰め・箱詰めラインを備えたB棟、めっき製品等のビス付け・梱包とプラスチック成形を手掛けるC棟の3棟で分業体制を敷いています。

自動化システムを強化しつつ、工場機能の集約を図り、上流から下流まですべての工程を首尾一貫した円滑な流れに統一して、省人化・省力化による効率の

tsukuba Factory



環境への取り組みが人と社会と地球を繋ぐ ～環境のリードオフマンとして会社を牽引～

環境マネジメントシステム認証取得により従業員の意識強化

横芝工場では2013年に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し継続的に運用しています。ISO14001は環境リスク低減を目的とした規格で、その認証を取得するには環境への取組方針や法規制、その他の要求事項を明確化し、管理方法を決定して実際に運用・見直しを繰り返して文書化します。その作業は実に膨大で慣れない資料と格闘しながら毎日大変な思いをした記憶があります。しかしその結果、横芝工場働く従業員に変化が見られました。社内外のコミュニケーション機能が向上して意見交換が活発化し、環境対策はもちろん、業務改善やコスト削減にも進んで取り組むようになったのです。環境に対する従業員の自覚が増すことで企業体質の強化にも繋がっています。

規格や法令を理解して目標を立てると、そこには教育や訓練も付随してきます。すべてが数珠つなぎとなる活動が環境マネジメントを維持する上で重要です。



製造本部 第二製造部
横芝工場 工場長
張籠 浩史



環境活動がもたらす 合理化、改善活動との繋がり

横芝工場では、本来の製造業務においても、資源、エネルギーおよび廃棄物の削減による環境負荷の低減に努めており、ISO14001の下で策定した環境基本方針に基づき、何をどう取り組むかという部分まで具体的に落とし込んだ目標を設定しています。たとえば、生産方法の工夫で材料の無駄を無くす、塗装ラインを継続稼働させる工夫でLPガスの無駄を無くすなど、実は、環境活動は合理化や改善活動と密接なもので、どちらもしっかりと取り組むことによって相乗効果が生まれますし、そのために、シンプル且つ効果的な取り組みを考えるのが私たちの役割です。

環境活動に取り組むことは、合理化や改善活動にも繋がります。目標を立てる際は、従業員一人ひとりに環境と合理化の意識を持ってもらえるよう努めています。



製造本部 第二製造部
横芝工場
渡辺 幸一



歩留まり向上に努め、材料の無駄を無くしています。



塗装ラインを継続的に稼働させLPガスの使用量を削減します。



横芝工場の役割

高耐食めっき鋼板製のケーブルラック、ドクター、レースウェイなど当社の主力製品の製造を担う横芝工場は、ロール成形から組立まで一貫した生産体制を敷き、高品質でありながら納期やコスト等のさまざまなメリットを提供できる生産体制を構築しています。環境マネジメントシステムISO14001を認証取得したことで、環境への取り組みにもより一層力を入れ、活動で蓄積したノウハウを各工場に横展開するなど、ネグロスの環境リーダーとしての役割を担っています。



国境を越えて支援する「ネグロス島プロジェクト」 ～ Be With Negros Island を合言葉に～

授与式から始まるネグロス島教育支援

当社は、経済困難により学校に通えないネグロス島の児童を支援する「奨学金プログラム」を、2020年11月にZamboanguita市からプログラム認可を得て始動しました。各小学校から推薦された9名に対し2021年2月2日に奨学金授与式が執り行われ、教育省と、各学校から、奨学金事業に対する感謝と期待が寄せられました。今後は、学用品や食料品の支給や、コロナで学校へ通えない子どもへの学習支援に取り組む予定です。



奨学金受給者のご家庭に訪問
奨学生の保護者と記念撮影



奨学金授与式
(コロナの影響で、保護者のみが出席し無事に執り行われました。)

- 事業実施：NPO法人 IMAGINUS
- スポンサー：ネグロス電工株式会社
- 後援および写真提供：Darwin English Tutorial International Inc. (DETi・デティ)

「ゆめ」と「みらい」を紡ぐしごとづくり

ネグロス島民の多くは、唯一の産業である砂糖生産の労働収入に頼っており、飢えや貧困に苦しむ人も少なくありません。当社は、安定した仕事をつくり、島民が自らの力で基礎収入を上げ、貧困のスパイラルから抜け出すための「しごとづくりプロジェクト」を支援しています。

その第一弾としてネグロス島での「バッグ製作」を開始しました。バッグのデザインは、広島大学他10名の学生が担当。現地スタッフとともに試行錯誤を重ねた結果、素材はフィリピンの特産アバカ(マニラ麻)を使用し、シンプルで機能性を持たせたデザインに仕上がりました。

現在は、少人数の現地スタッフが最小限の設備で、すべて手作業で製作しているため、製作できる数は1日に2～3個と限られていますが、今後は設備の充実やスタッフの増員によって、「しごとの輪」を広げ、軌道に乗せていきます。



バッグの製作を担当した現地スタッフ
バッグのデザインを担当した広島大学の原ゆうみさん

これまででもこれからも —ネグロス育英会—

1986年に発足した公益財団法人・ネグロス育英会は今年で35周年を迎えます。2020年度も33名の生徒を採用し、計76名の生徒に対し奨学金を支給しました。奨学金は大学進学に伴う受験料や入学費に備えての積み立て、進学塾の費用、参考書の購入などに充てられ、修学困難な生徒にとって大きな支えとなっています。奨学金の給付人数は毎年2月に開催される理事会の決裁を経て承認されます。2021年度の募集は新型コロナウイルスの影響で書面による理事からの承認を得て、募集枠を若干名増やしました。

一人でも多くの学生が安心して教育を受けられるよう、ネグロス育英会では今後も優秀な学生を支援していきます。

理事会の様子(2020年2月撮影)

EMPLOYEES

みんながやりがいを感じ、気持ちよく働ける職場づくりをめざします

残業時間

仕事を終え休息や余暇を楽しむことは従業員の健康維持はもちろんのこと、仕事のやる気アップや生産性の向上に繋がります。そのため、残業削減は働く人にとっても会社にとっても重要な取り組みといえるでしょう。当社では、従業員が効率よく仕事をできるように、社内制度の改正やシステム活用による効率化を図っています。また、独自にノー残業デーを設ける部署があるなど従業員の意識も日に日に高まっています。



社員の声

最近の楽しみは仕事終わりに行く友人とのバイクツーリングです。たいしては都内のプチツーリングに出掛け、東京タワーやお台場などの夜景スポット巡りを楽しんでいます。ツーリングを始めたことで、同じ趣味を持つ人との出会いも増え、充実したひと時を過ごしています。



私の愛車「カワサキ BALIUS」は高回転まで吹き上がる直四エンジンが魅力で、キビキビ走るとも乗りやすいバイクです。こだわりのカスタムペイント(ラップ塗装)も自分好みに仕上がりました。

総務部 末永 茉優

これからもこのような時間が多く持てるよう、効率良く仕事をしていきたいと語る末永さんでした。

有給休暇

有給休暇の取得促進には、職場環境や社内風土の改善、会社と従業員双方の意識改革が重要だといわれています。当社では、有給休暇の取得促進を経営方針として明確に発信し、経営者・従業員の意識改革をはじめ、職場環境の改善や半日休暇制度導入などさまざまな取り組みを行いました。その結果、2017年度には30%だった有給休暇の取得率が2020年度には55.92%にまで上昇しています。



社員の声

現在、会社の登山部に在籍週末を中心に登山を楽しんでいます。私は登山も好きですがキャンプでの酒盛りが大好きで、登った達成感とともに味わうビールは最高です!!

今は、登山ブームで土日祝日はどこの山も登山客が大勢いて、キャンプ場も混雑しています。そこで有給休暇を活用。



今年は連続有休取得で北アルプス縦走を計画している山根さん。「それまでに体を鍛えておかないと!」とのことでした。

金曜日を休むとそこまで混雑しておらず、テントを便利な場所に張れて、静かに過ごすことができます。さらに1泊だけなら筋肉痛になる日曜日を休息に充てられて一石二鳥です。

土浦営業所 所長 山根 丈晴



当社は、社員のモチベーションアップのために、働きやすい職場環境やシステムづくりを推進しています。

育児休業

育児休業を取得し、働き続けることができる職場環境の構築は会社にとって重要な取り組みのひとつです。近年では、政府主導で取り組みを行っている「男性の育児休業」が注目を集めており、「イクメン」や「イクボス」もすっかりお馴染みになりました。

当社も、女性社員だけでなく男性社員も育児休業を取得しやすい社内風土をめざしていますが、男性育児休業取得率は10.71%とまだまだ低く、今後も積極的に取り組まなければならない大きな課題です。男性が育児休業を取得しやすい環境や制度改革を進め、子育てをしやすい会社をめざしていきます。

男性の育児休業取得率



社員の声

妻の5人目の出産に伴い育児休業を取得しました。育休中は掃除、洗濯、炊事、子供たちの習い事や幼稚園の送迎、弁当作りなど家事全般に奮闘しました。

男性の育児休業が家庭円満に繋がっているという阪本さん、男性社員もぜひ育児休業を取得してほしいとのことでした。

これまで妻に任せっきりだったこともあり、育休を取って初めて知った日々の家事や育児のボリュームに驚きました。これだけの家事を一人でこなしてきた妻に対する感謝の気持ちと自責の念にかられ「もっと家事や育児をしなければ」という意識が強くなりました。今は自然と家事や育児をする時間が増えています。

新宿出張所 阪本 春樹

健康経営の推進

従業員の健康管理・健康づくりは、従業員の活力や生産性・創造性の向上、企業イメージ向上等の効果が得られ、企業のリスクマネジメントとしても重要です。そこで当社は、経営方針に「健康経営の推進」を掲げた後、2019年度に「健康経営委員会」を発足、経営者を中心とする組織体制を整え、それ以降、従業員の健康管理・健康づくりに向け積極的な活動を展開してきました。

その結果、2020年度に健康優良企業「銀の認定」、同じく2020年度に大規模健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定を受けています。今後も当社は従業員の健康を最優先事項と考え、健康課題の解決に取り組んでいきます。



フリースペースプロジェクト

本社リフレッシュルームが完成しました! 内装は自然の温もりを感じる木目調デザインを採用。使い勝手や機能性を備えた落ち着いた家具を配置し、周囲を気にせず通話ができる扉つき電話室は、社員の声を活かしました。心がホッとするようなリラックスできる空間を演出しています。

仕事の合間のひと時に「休憩してまた頑張ろう!」と思えるスペースになってくれたらいいと思います。



社名	ネグロス電工株式会社
創業	1947年(昭和22年)6月1日
設立	1953年(昭和28年)10月1日
代表者	代表取締役社長 菅谷 三樹生
本社	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1 TEL 03-5628-7111
本店	東京都江戸川区中央1-3-5
従業員数	1,428名(2021年4月現在)

- 加入団体
(順不同・敬称略)
- 全日本電設資材卸業協同組合連合会
 - 全日本電気工事業工業組合連合会
 - 東京商工会議所
 - 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会 東京都支部
 - 一般社団法人 日本電設工業協会
 - 一般社団法人 日本建築学会
 - 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会
 - 一般社団法人 東京電業協会
 - 一般社団法人 電気設備学会
 - 一般社団法人 埼玉県電業協会
 - 一般社団法人 建設電気技術協会
 - 一般社団法人 茨城県電設業協会
 - 一般財団法人 流通システム開発センター

事業内容 電気・空衛設備資材の製品開発・製造・販売(卸)

主要製品 ケーブルラック、レースウェイ、パイラック ほか



本社(亀戸ビル)



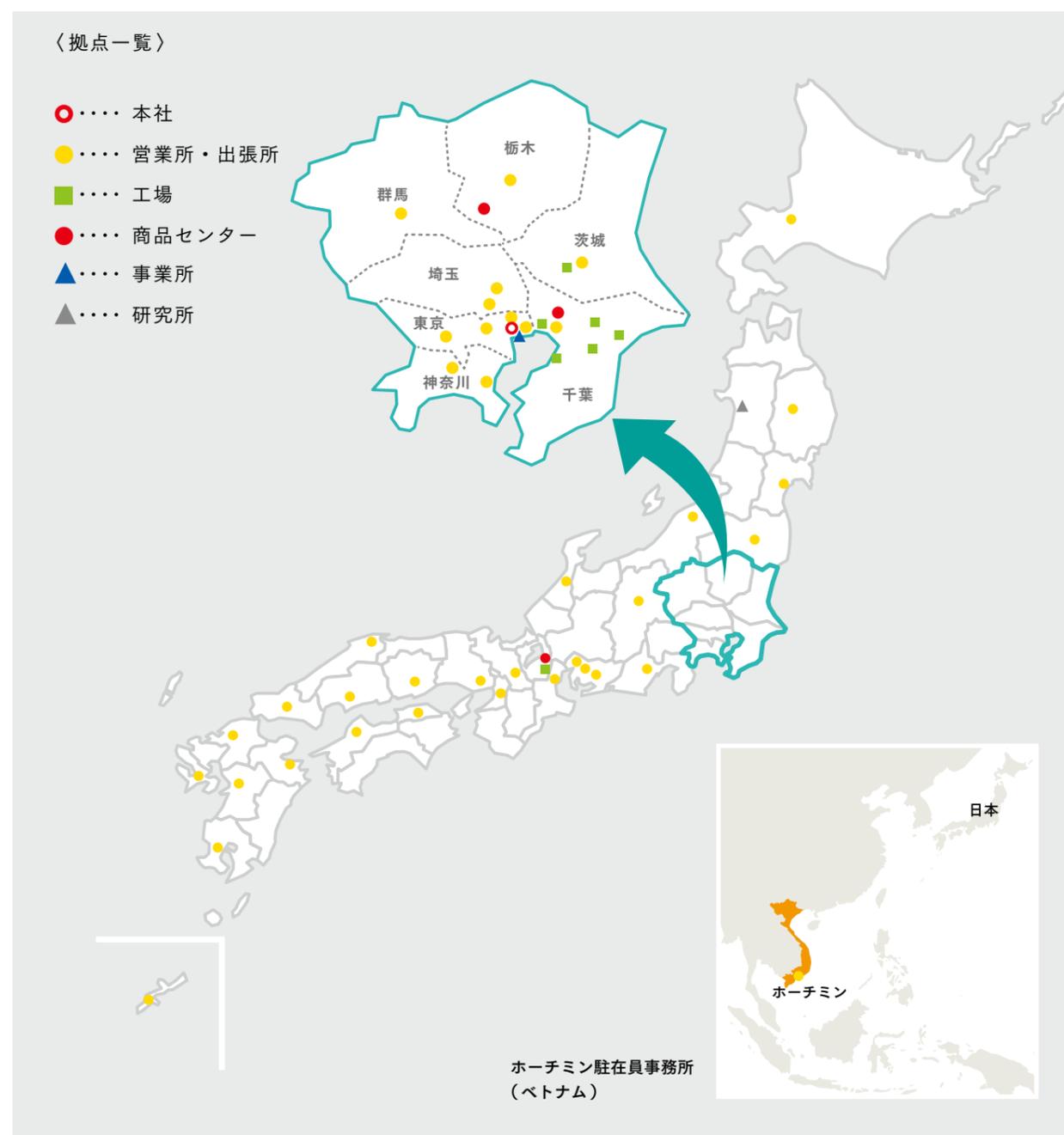
営業所(東京中央)



工場(市原第一)



商品センター(佐野)



株式会社古西電機	本店	〒140-8678	東京都品川区南品川2-16-6
	大阪営業所	〒555-0021	大阪府大阪市西淀川区歌島2-12-28
	鹿島営業所	〒314-0022	茨城県鹿嶋市長栖1879
五洋電設株式会社		〒132-0021	東京都江戸川区中央1-3-5
株式会社東亜商会	本店	〒577-0063	大阪府東大阪市川俣1-18-35
	名古屋支店	〒452-0942	愛知県清須市清洲田中町45
トヨタ工業株式会社	本社・流通センター	〒132-0025	東京都江戸川区松江5-10-16
ネグロス空調株式会社		〒132-0021	東京都江戸川区中央1-3-20
ファイアーランス工業株式会社	本部	〒132-0025	東京都江戸川区松江2-27-11
	関西営業所	〒552-0016	大阪府大阪市港区三先2-12-19
	仙台営業所	〒984-0056	宮城県仙台市若林区成田町61-1
	名古屋営業所	〒464-0075	愛知県名古屋市千種区内山2-14-21

グループ会社
(五十音順)

読者アンケートのお願い

ネグロスタイムズをお読みいただきありがとうございます。当社と皆様を繋ぐ懸け橋となることを使命に編集に努めております。ご感想、ご意見をいただきたく、アンケートのページを用意させていただきました。

より良い誌面づくりにご協力ください。



※勝手ながら二次元バーコードをご利用できる皆様へのアンケートとなります。ご理解のほどお願いいたします。

Facebook はじめました

この春から最新のネグロス情報をお届けしております。新商品の紹介をはじめ、皆様へのサービス情報や、当社のさまざまな活動を報告しています。

“友達リクエスト”
心よりお待ちしております！



TOPIC